



親子で楽しく読書！ 夏休みの悩みも解消！ 読書感想文講座

実施報告



【日時】 令和元年7月20日(土) 午前10時～12時
【場所】 陶地域交流センター
【講師】 前田 真奈美氏(下関市立勝山小学校 教頭)
【受講生】 大人23人

読書の発達段階

今まで本を読んでこなかった人が、いきなり難しい本を読むのは大変です。読書にも発達段階があります。

読書の自立をする(身近に本がある大人になる)ためには…

3つのハードルを越えないといけません。

◇言語環境川 ……5～6才ころを超えるハードル。

文字が読める ≠ 文章が読める

書き言葉に慣れていれば、自然と文章も読めるようになります。

【読み聞かせ】をして、書き言葉に慣れさせてあげましょう。

◇自分から読書する山…小学校高学年ころを超えるハードル。

今まで読んでいた本にももの足りなくなる時期。【ソロリの壁】

作者・シリーズへの興味を持たせることで、自分から読むようになる。

↳ 大人の影響力が大きい。しっかり関わってあげてください。

◇考えるために読む山…中学生・高校生で超えるハードル。

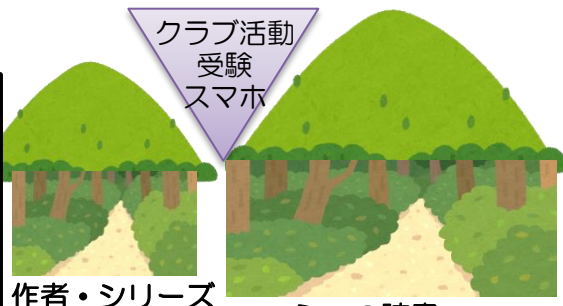
自分の生き方のために読書を取り入れるようになる。

3つの谷(クラブ活動、受験、スマホ)で、読書を離れる子が多い。

友だちや異性への見栄で読書を続ける子も…。(ミエの読書)



全てのハードルを越えて、読書の自立へ



クラブ活動
受験
スマホ

作者・シリーズへの興味

ミエの読書

本の選び方

読書感想文を書くための本を選ぶときは…

◇自分が面白いと思う本

- ・ 1～2ページ立ち読みしてみて面白そうと思った本
- ・ 面白そうな題名の本

◇意見や感想が書けそうな本

◇その他

- ・ 好きなテーマ、興味のあるもの（スポーツ、ファッション）
- ・ 教科書に載っている作者の別作品
- ・ 課題図書



課題図書・指定図書の違い

課題図書…読書感想文を書くのにおすすめ

指定図書…読書感想画を描くのにおすすめ

感想文の書き方

Step 1 本を読もう

※読み終わってすぐに書き始めるのはNG

Step 2 付箋やメモを使って構想をねろう

※どんなあらすじ？ 心に残ったシーンは？

Step 3 本の感想を友達や家族と話しあおう

※話し合ったことを感想文に反映することもできます

Step 4 感想文を書こう

※『あらすじ』『感想』『書き出し』『まとめ』で感想文になります



あらすじの書き方

だれが・どこで・いつ・何をした・なぜ
の5W1Hがあらすじです。

感想を書くコツ【原稿用紙を埋めるテクニック】

- なぜそう思ったか
- ◎ どのような場面でそう思ったか
登場人物と比べてみる
- ◎ 「なぜなら」「たとえば」「もしも」「だから」
を使って書いてみる
- ◎ 言葉を言い換えて書いてみる
※大人が語彙を教えてあげましょう

「おもしろかった」より
「物語に引き込まれた」の方が、
原稿が埋まるよ。
いろんな言葉に言い換えが
できるんだね。

言い換え方が分から
なかったら、お父さん
やお母さんに聞いて
みよう！



書き出しを考えよう

- 本の紹介から
- 感想から
- 読んだきっかけから
- 作者や、同じ作者の作品紹介から

まとめを考えよう

- 本の感想で終わる
- 作者の考えや本のテーマをまとめる
- 本をきっかけに考えたこと、反省、目標
- 「もしも～」で終わる

書く量を分配しよう【原稿用紙 3 枚の場合】

- 書き出し…5 行
- あらすじ…10 行
- 感想（心に残ったこと）…10 行
- 感想（自分の体験や考え）…25 行
- まとめ…10 行

◇付箋やメモに書いたことをワークシートにまとめて書いてみよう！

読書感想文を書こう！

本の題名

この本を著もうと思ったわけ

この本の主人公について

自分と主人公が似ていること

「書名」のついたこと、または「この本を著うで考えたこと」

レベルアップ

レベルアップした感想文を書くには…

- 「わたしの読書」を読もう … 感想文の書き方が分かります
- コンクールに出したいときは、本文から書き始めよう
- コンクールの原稿用紙は B4
- 最後の行まできっちり書こう

講座の様子から

約 1 時間半の間、先生の経験も交えながら「読書感想文を書きやすい本の選び方」や「読書感想文を書くときのコツ」などをお話していただきました。

受講生の方は、メモを取りながら熱心に聞いていらっしゃいました。講座終了後は、先生に質問をされている方もいました。



受講生の方からの

御意見・ご感想

一部
御紹介

☆子どもの発達段階によって関心が深まるテーマ（本選び）が変化、成長していくことを知り、今後の本選びの参考になりました。
感想文を親がサポートするための具体的な手段も得ることができ、貴重な時間になりました。

☆最後（小6）の学年でこの講座に参加しました。もっと早く参加したく思え、残念です。知人にも紹介したいと思います。
夏休み初日に講座があり、即実行できるのはありがたいです。期間中多くの本を選んで良い感想文を作ります。

☆3年前に今回の講座を受講し、再度聞いて感じたことは、感想文を書くテクニックより日頃から子どもと積極的に関わるコミュニケーションが大切だと思いました。
親としては早く自立してほしい思いもありますが、今しか作れない時間をもとと改めて思いました。

☆自分も子どものとき読書感想文が苦手で、実際に子どもも苦手なので、少しでも今年の読書感想文の参考になればと思い、参加させていただきました。
親が子どもと関わって一緒に作り上げていくものなんだということを教えていただき、もっと積極的に楽しみながら取り組んでみようと思います。ありがとうございます。

☆毎年、読書感想文は親の宿題と苦痛に感じていましたが、今年は子どもと対話しながら思い出をつくることが出来たらいいなと思います。
たくさんのヒントをいただきました。ありがとうございました。

☆感想文の書き方のテクニックで、言葉の言い換えで文章を長くも短くもできる…というところにはなるほど納得いたしました。感想文をそういった「原稿マスを埋める作業」と捉えることに罪悪感があったので（自分が学生時代に書いていた時には）目からウロコでした。

☆読書感想文を書くにあたって、どこまで親が関与してよいのか分からなかったのですが、今日の講座でこれからどのように子どもにアドバイスしていけばよいのか分かり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

